

## 2017年8月13日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

賛 美 新聖歌20番 「主の真実はくしきかな」

(平和はじめて知った) (God bless you!)

3つの愛

聖 書 ①ルカによる福音書 3章1～6節(p87)

②ローマ人への手紙 12章9～18節(p.249)

音 楽 The Neighbors(隣り組)

証 詞 ①高木美智子姉(サラの会)

メッセージ ①「備えあれば喜びあり(下)」 倉知契副牧師

②「人を祝福する特権」

大川従道牧師

賛 美 「わが主はまことの牧者」(502番・献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「あなたがたを迫害する者を主服しなさい。祝福して、のろつてはならない。」

(ローマ十二の十四)

### 【町田ニュース】

- ・ 暑中お見舞い申し上げます。主の「恵みとあわれみと平安」を祈ります。
- ・ 今週の祈禱会は、水曜夜は J・オースティン師(V)、木曜がハ・ヨンジョ師(V)、金曜夜は丸藤剛介伝道師(Y)。
- ・ 土曜日、通常通り午後4時半より祈り会。祈りは力です。
- ・ 貸出図書に、レンタルDVDが加わりました。
- ・ 毎日、通読表(聖務表)に従い、Q.T.をしましょう。



## 畑の中の宝物

キリスト教の映画が次々と生まれ、話題となっている。

一つは「ハクソー・リッジ」。1945年5月沖縄戦で、戦争を肯定せず、救済だけを目的とし衛生兵として軍隊に参加した一クリスチャンがいた。彼は、訓練時から武器を持つことを拒否。そのため上司や仲間に誤解され、いじめられるが、壮絶な戦場にひとり残り、神に祈りつつ力を頂き負傷兵を助け続けた。

彼ひとりのお陰で75人の負傷兵の命が救われ、あとから感謝・尊敬を受けるに至る。その名はデズモンド・ドス。後に米国で名誉勲章を受ける。2006年3月に召天。「パッション」を描いたメル・ギブソン監督が実話を映画化した。

そして遠藤周作の「沈黙」をマーティン・スコセッシが映画化し、今年上映された。高校時代、小説を読んだことがあったが、迫害シーンの壮絶さに恐怖を覚え映画を観ないでいたが、この度レンタルが始まり遂に観た。

キリシタンの弾圧は江戸幕府以前の豊臣秀吉の時代から行われた。1613年に江戸幕府が「禁教令」を発令したことによって、弾圧は益々激しくなっていた。幕府がキリスト教を弾圧した理由は、諸説があるが、日本がキリスト教に征服（植民地化）されてしまうと思ったから。キリスト教の考えが日本の文化や倫理に合わなかったから。政治的事情が宗教と絡む悲劇だった。

私は意外と観てよかったと感じた。当時、天国（パライソ）を望み、殉教に奉じていった男性・女性たちが多くいたという事実。キリスト教はキリストの時代から迫害の連続だったことを思い起こされ、命を失っても真すぐに生きた農民たちの姿に臆病な私は励ましを受けた。ある意味、死は死でしかないと思えた。

もう一つ大きな発見。「沈黙」というタイトルなのに、宣教師が踏み絵を迫られた時、キリストの語られる場面がある。「私は黙っていたのではない。お前と常に苦しんでいたのだ」。有名な詩「あしあと」にも通じる内容だった。神は沈黙していたのではない。さらにラストシーンでは棄教した宣教師が棺の中で密かに十字架を握っており、「人の心は、神だけが知っている」とのナレーションで締めくくられていた。遠藤周作の伝えたいメッセージはそこにあったとは。ご覧あれ。

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ローマ12章～ I コリント1章 Bコース:詩篇96篇～115篇